

1、基本目標

隠岐の島町教育文化振興財団は、子どもから高齢者まで全ての町民が心豊かに暮らせるよう芸術文化の振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目標に、多様な事業を展開する。

2、基本方針

隠岐の島町教育文化振興財団は、平成25年4月に組織を公益財団法人に改め、新たなスタートを踏み出した。

当財団が平成5年設立当初から掲げている、伝統文化の保存伝承、次世代を担う後継者の育成、文化・体育の振興等を積極的に推進する事を目的としながら、公益法人として業務の見直しを行い、町民から信頼される自主的、自立的な公益法人組織の確立を目指す。

また、文化会館・体育館・図書館・武道館の指定管理者として、効率的な各館の管理運営を行う中で、隠岐の島町の文化・体育振興施策の推進に寄与すると共に、町民が個性豊かな地域文化創造を発信できるように取り組む。

特に、幅広い世代の「町民参加」と次世代を担う青少年の育成を事業の主軸として推進していく。

3、個別事業計画

I 事務局及び隠岐島文化会館

(1) 文化事業の実施方針

当財団は、隠岐島文化会館を活用し、多様で質の高い芸術文化の提供及び創造する機会を目指し、次の6つの実施方針により事業を展開していく。

①鑑賞事業

伝統芸能などをはじめとする優れた芸術文化の鑑賞機会を町民に広く提供する事業

②育成事業

町内の芸術文化・伝統民俗文化それぞれの将来を担う人材を育てる事業

③芸術文化受託事業

隠岐の島町等から受託を受け、島外から劇団等を招聘する事業

④芸術文化支援事業

町内の芸術文化活動を行う団体や町民の活動支援を行う事業

⑤地域活性化事業

町・団体・公民館・学校などと連携して、各種公演等に町民の参加を促す事業

⑥展示・文化情報提供事業

町内で活動するグループや個人、町内の教育・福祉関連等の作品の展示をしたり、他団体の活動や各種の催しの情報を町民に広く提供する事業

(2) 隠岐島文化会館 貸館事業方針

①基本テーマ

貸館事業は、「利用者と同一立場に立って、お迎えすること。」を基本として取り組む。

②実施方針

「利用率の向上と施設の有効利用を図りながら町民への芸術文化活動の場の提供を行う。」
ことを踏まえ、貸館事業を推進していく。

③利用者意見の把握

多様な利用者の声を整理・分析し、必要な業務改善を図る。

(3) 実施事業一覧

①鑑賞事業

事業名	予算	開催時期	備考
映画上映	880,000 円	年 4 回程度	新作や話題映画の上映を行う。

②育成事業

事業名	予算	開催時期	備考
青少年人材育成事業	160,000 円	年 間	町民自ら行う文化活動を活発にするため、ボランティアスタッフ KUROKO と舞台研修会等を行い、大ホール事業に対し協力を求める。 また、職員及びボランティアスタッフ KUROKO が能力向上を図るため、県内施設に出向き、舞台講習などを受ける。

③芸術文化受託事業

事業名	予算	開催時期	備考
青少年劇場	2,000,000 円	年 1 回	※隠岐の島町教育委員会受託事業 ※隔年開催事業 ※すわらじ劇園

④芸術文化支援事業

事業名	予算	開催時期	備考
芸術文化支援事業	0 円	年間	隠岐島文化会館を利用して行う美術、写真、工芸、また、大ホールを利用した音楽、演劇等について支援をする。
		4月	ハルオキ
		5月14日	しげさ節全国大会
		7月 or 8月	プラバ少年少女合唱団合宿コンサート
		10月	あこな会20周年記念
			上記以外のイベント
町内文化振興 支援事業	0 円	年間	町内各地で開催する文化活動について、協力・支援を行う。
		6月	ウルトラマラソン前夜祭、本番（ゴール）
			上記以外のイベント

⑤地域活性化事業

事業名	予算	開催時期	備考
おきゼミ	150,000 円	年1回	隠岐の歴史、文化を研究している方を講師にお迎えし、隠岐を再認識するとともに、隠岐の人材を育成する。 ※飯嶋和一氏予定
文芸隠岐発刊事業	450,000 円	平成31年 3月発刊 (予定)	隠岐島内に在住及び隠岐に住んでいた事のある文芸愛好者の方々の小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳等の発表の場として発刊する。(文芸隠岐23号)
文化祭 文化グループ 発表会	30,000 円	11月 (予定)	文化会館を定期的に利用している文化グループが日頃の成果を発表し、芸術文化への理解と関心を深める。
町民なんでも発表会	15,000 円	12月 (予定)	普段文化会館で活動していない町内の保育所、学校、個人、各団体の様々な内容の発表をすることにより、町民への芸術文化への参加と理解と関心を深める。
文化グループ 体験教室	0 円	年間	文化グループ参加者の高齢化に伴い、体験教室を開催し、文化グループへの参加等活性化を図る。
島根県公立文化施設 連携事業	450,000 円	年間	島根県内の公立文化施設の事業と連携し、隠岐島文化会館でも開催する。

(新) しまね映画祭 映画塾	126,000 円	年 間	H31 年度隠岐島文化会館開館 35 周年記念事業として、島根県内で開催しているしまね映画祭の映画塾を誘致する。
----------------------	--------------	-----	--

⑥展示・文化情報提供事業

事 業 名	予 算	開催時期	備 考
隠岐島文化会館 情報発信	0 円	年 間	施設案内・会議室の予約状況、イベント情報等をホームページ、ポスター掲示等で情報発信をする。
わたしの作品展	0 円	年 間	気軽な文化活動の発表の場として、文化会館の各展示スペースを提供する。

II 隠岐の島町総合体育館・隠岐の島町運動公園

(1) 体育振興事業の実施方針

当財団は、隠岐の島町総合体育館・隠岐の島町運動公園を活用し、町民の健康保持・増進を図るとともに、スポーツ人口の拡大を目指し、隠岐の島町における体育振興の中核施設として次の6つの実施方針により事業を展開していく。

①鑑賞事業

優れた芸術文化やスポーツなどの鑑賞・観戦機会を町民に広く提供する事業

②育成事業

町内のスポーツ指導者としての将来を担う人材を育てる事業

③芸術文化支援事業

町内の芸術文化活動を行う団体や町民の活動支援を行う事業

④スポーツ、体育活動支援事業

町内で活動する団体が行う各種大会や教室について大会運営、指導等の支援をする事業

⑤地域活性化事業

町・団体・公民館・学校などと連携して、各種スポーツ体験並びに、公演等に町民の参加を促す事業

⑥展示・文化情報提供事業

隠岐の島町出身のスポーツ選手の資料の展示をしたり、他団体の活動や各種の催しの情報を町民に広く提供する事業

(2) 隠岐の島町総合体育館 貸館事業方針

①基本テーマ

貸館事業は、「利用者と同一立場に立って、お迎えすること。」を基本として取り組む。

②実施方針

「利用率の向上と施設の有効利用を図りながら町民へのスポーツ・芸術文化活動の場の提供を行う。」ことを踏まえ、貸館事業を推進していく。

③利用者意見の把握

多様な利用者の声を整理・分析し、必要な業務改善を図る。

(3) 実施事業一覧

①鑑賞事業

事業名	予算	開催時期	備考
島根スサノオ マジック プレシーズンマッチ	0 円	9月	町民が普段見ることのできないプロの試合観戦として、島根スサノオマジックのプレシーズンマッチを開催する。

②育成事業

事業名	予算	開催時期	備考
スポーツ指導者 育成講習会	0 円	年1回	町内スポーツ指導者や学校関係者等を対象に、県体育協会等と連携し、スポーツ等の指導者育成を目的として実施する。
柳本品一・ バレーボールスクール	50,000 円	7月	アテネ、北京両五輪全日本女子バレーボールチーム監督の柳本品一氏を講師に招いて、中高生及び指導者を対象に講習会を開催する。
島根スサノオマジック バスケットボール クリニック	0 円	9月	スサノオコーチ・選手によるクリニックを地元のバスケットボール指導者・愛好家を対象に開催する。
救急法講習会	0 円	年1回	体育館教室講師、各種スポーツ団体指導者及び、利用者を対象に救急法（AED）の講習会を実施する。

③芸術文化支援事業

事業名	予算	開催時期	備考
交流会等 イベント事業	0 円	年間	各種芸術文化の普及、交流を目的としたイベントに協力し、実施する。
		6月	ウルトラマラソン前夜祭イベント
			各種、研修会等でのイベント

④スポーツ、体育活動支援事業

事業名	予算	開催時期	備考
レインボー アリーナ杯	86,000 円	年間	各種スポーツの普及・交流を目的として 財団が主催、共催として実施する。
			ソフトボール大会(運動公園)
			スポンジテニス大会
			9人制バレーボール大会
			ソフトバレーボール大会
スポーツ・体育活動 支援事業 (体育館)	0 円	年間	体育館において、各種団体が開催する大会等が円滑にできるように企画運営に協力・支援を行う。
		6月	隠岐の島町ウルトラマラソン
		2月	ちびっ子長縄跳び大会
			上記以外のイベント
スポーツ・体育活動 支援事業 (運動公園)	0 円	年間	運動公園において各種団体が開催する大会等が円滑に運営できるよう協力・支援を行う。
		8月	ごさんせカップ
		11月	全隠岐駅伝競走大会
			上記以外のイベント

⑤地域活性化事業

事業名	予算	開催時期	備考
スポーツ教室	815,000 円	年間	町民の健康保持増進と体力づくりを図るとともに各種スポーツの普及振興に努める。 ○スポンジテニス教室 ○バドミントン教室（昼の部・夜の部） ○卓球教室（火曜・木曜） ○ラージボール卓球教室（木曜） ○健康体操教室（金曜日） ○ソフトバレー教室（昼の部・夜の部） （新） ○Jr.レスリング（水曜） ○Jr.卓球教室（木曜）

隠岐の島町 障がいスポーツ 振興事業 (隠岐の島町委託事業)	246,000 円	年 間	ユニバーサルスポーツ教室として、ニュースポーツを「誰でも」「いつでも」をモットーに、職員を中心に外部講師と協力し、実施する。 実施種目 卓球・カローリング・スポンジテニス・クロリティー・ポールウォーキング・室内グラウンドゴルフ・ユニホック等
夏・冬休み複合型 子ども教室	30,000 円	夏・冬休み 期 間	子どもの体力低下が懸念される中、中学年以下の児童を対象に、スポーツ用具を活用して、楽しみながら体力作りに取り組める教室を実施する。
開放事業 レインボーアリーナ の日	25,000 円	年1～2回	より多くの町民にご利用いただくために、アリーナ全面に、ニュースポーツコーナー、競技スポーツコーナーを設け、「レインボーアリーナの日」として無料開放する。

⑥展示・文化情報提供事業

事業名	予算	開催時期	備考
資料・作品展	0 円	年 間	隠岐出身のスポーツ選手の資料を展示したり、他団体の活動及び各種催しの情報を、町民に広く提供する。 <隠岐の島町出身のアスリート> 大 相 撲 隠岐の海（八角部屋） 展示：写真・色紙・番付表 サッカー 平野甲斐（セレッソ大阪） 展示：写真・色紙・ユニフォーム等

Ⅲ 西郷武道館

(1) 武道館事業の実施方針

当財団は、西郷武道館を活用し、武道を通じてスポーツ振興を図り、町民の心身の健全な発達及び町民相互の交流を深めることをめざし、隠岐の島町における武道の中核施設として次の実施方針により事業を展開していく。

①展示・文化情報提供事業

隠岐の島町出身のスポーツ選手の資料の展示をしたり、他団体の活動や各種の催しの情報を町民に広く提供する事業

(2) 西郷武道館貸館事業方針

①基本テーマ

貸館事業は、「利用者と同一立場に立って、お迎えすること。」を基本として取り組む。

②実施方針

「利用率の向上と施設の有効利用を図りながら町民への武道の場の提供を行う。」ことを踏まえ、貸館事業を推進していく。

③利用者意見の把握

多様な利用者の声を整理・分析し、必要な業務改善を図る。

(3) 実施事業一覧

①展示・文化情報提供事業

事業名	予算	開催時期	備考
資料・作品展	0 円	年間	隠岐出身のスポーツ選手及び、隠岐に 来島した選手の資料、または町内・県内 情報を展示する。

IV 隠岐の島町図書館

(1) 図書館事業の実施方針

当財団は、隠岐の島町図書館を運営し、町民の知的活動の基礎となる読書や情報収集活動を支援し、隠岐の島町の図書館事業の中核施設として次の事業を展開していく。

①図書館事業

- 1) 図書や資料の収集及び整理・保存を行う。
- 2) 公民館・保育所・学校との連携や遠距離貸し出し等のサービスを行う。
- 3) ブックトーク、季節の行事に合わせたイベント、講座や読み聞かせなどの読書普及活動の推進を行う。
- 4) 各展示スペース、情報誌読まんかねなどを利用し、イベントや新着図書などの様々な情報を発信する。

(2) 実施事業一覧

①図書館事業

事業名	予算	開催時期	備考
はじめてのえほん	0 円	毎週日曜日	0 歳から 3 歳、保護者を対象に、読み聞かせ、手遊び等を通して、乳幼児の頃から絵本やお話に興味を持ってもらう。
ブックスタート事業	0 円	毎月 第 3 水曜日	町内で生まれた赤ちゃんと、その保護者に絵本を手渡し、絵本を開く楽しい体験を知ってもらい、かけがえのないひと時を持つきっかけ作りをする。(ボランティア・役場・教委と連携) 4 ヶ月の乳児：健診時に、読み聞かせと絵本 2 冊プレゼント 3 歳児：図書館で絵本 1 冊プレゼント
季節の行事	30,000 円	年 間	ボランティアグループの協力を得て、季節の行事にあった、紙芝居・読み聞かせ・工作等を行う。
		4 月	子ども読書の日スペシャル
		7 月	たなばた会
		12 月	クリスマス会
親と子の読書活動 普及事業	38,780 円	年 間	保護者または親子を対象に、親子読書や子どもの読書を推進する啓発活動を行う。
しまね子育て絵本の 貸出	0 円	年 4 回	県立図書館から寄託を受けた「しまね子育て絵本」35 箱(約 1,000 冊)を管理し、町内保育施設やボランティア等へ貸出をする。※1 ヶ所につき 3 ヶ月ごと 2 箱貸出

図書館講座	53,780 円	年 1 回	町内外の有識者を講師に招き、図書館講座を行い、読書への関心を高める。
図書館まつり	6,000 円	11 月初旬	西郷文化祭開催に併せて開催し、古本市など各種行事を行い、より多くの方に図書館に親しむきっかけをつくる。
夜の図書館 「よるとしよ」	30,000 円	年 3 回	図書館を夜間開館し、同時に様々なイベントを開催することで、幅広い方に来館のきっかけを作る。 ※ミニコンサート、映画上映会など
展示事業	8,000 円	毎 月	図書館内のカウンター前のスペース、図書館奥の展示ケースへ郷土資料の展示や、地域の作品、図書等を展示する。 また、町民に役立つ資料等を定期的に更新する。
図書館開放事業	0 円	年 間	図書館研修室等を開放し、町民の方々に広く利用してもらう。
読まんかね発行事業	8,000 円	毎 月	図書館の新書図書紹介やイベントなどの紹介をするために発行する。
プレジャー発行事業	5,000 円	5 月 9 月 H30 年 1 月	中学生・高校生のための読書案内を作成し、青少年のよりよい読書環境の形成を図る。
郷土資料モニター 事業	0 円	年 間	郷土資料をより効果的に充実させるためのモニター事業を展開する。
雑誌コーナーの充実	0 円	年 間	雑誌コーナーを充実させるために法人や個人などに協力を求める。
ボランティア参加の 促進	0 円	年 間	多様な利用者に対する図書館サービスを展開するために、ボランティアの参加を一層促進するよう努める。
図書館年報の発刊	3,000 円	5 月	図書館年報を発刊し、業務の分析をする。
郷土資料保存公開 事業		年間	郷土資料のデジタルアーカイブ（デジタル媒体への記録・保存）等を進め、目録作成と活用促進を行う。 ※H29～H31 年 ※教育委員会受託事業

(新) 課題解決支援事業	16,000 円	年 間	資料や情報を有効活用し、地域や町民の課題解決を支援する。 就業、子育て、教育、健康・医療、法律等に関する情報や地域資料等、地域の実情に応じた情報提供サービスや講座等を行う
(新) 各関係機関との 連携強化	0 円	年間	学校図書館との連携： 学校図書館訪問を行い、担当教諭や学校司書と課題点などを話し合いながら、相互の児童の図書利用を促進させる。
			公民館図書室との連携・配本： 各公民館図書室及び中出張所に、数百冊程度の図書の配本を行い、地域の利用者へ貸出返却などのサービスを拡大する。 五箇公民館 年 4 回 都万公民館 年 4 回 布施公民館 年 2 回 中出張所 年 2 回
			島根県立図書館との連絡会： 県立図書館の司書と図書館運営に関しての意見交換や研修を行う。
			隠岐ジオパーク推進協議会との連携： ジオパーク推進協議会と連携し、図書館がジオパーク学習の拠点のひとつとなるよう情報提供や講座（共催）を開催する。 ジオコーナーの設置 隠岐のふしぎ発見講座 年 4 回 レッツ理科読 年 1 回
(新) 住民主体事業	0 円	毎週土曜日	おはなしのへや (主催：ボランティアグループ おはなしのへや) 読み聞かせを基本に、幼児・児童サービスを行う。
		毎月 第 1 日曜	民話を語る会 (主催：おき民話の会) 隠岐を中心とした民話を語る会を行い、ふるさとの民話を伝える。
		毎月 第 2 土曜	隠岐アゴラ (主催：隠岐アゴラの会) 参加者がおすすめの本を紹介し合い、本を通して意見を述べ合う中で、読書や興味

			の幅を広げる。
		毎月 第2日曜	隠岐島の文化財を学ぶ会 (主催：隠岐島の文化財を学ぶ会) 『隠岐の文化財』(町教委発行)をもとに 毎月テーマを設定し、精通した講師のもと 学習会を開催する。